

HONTAN

HELPPIECES

図書館ボランティア「本探」が
旬の図書館情報をお知らせします!

ウキウキな
情報がいい感じ
第13号
11月1日号

本を読んでいると、ときどき「おいしそう。」と思うことがあります。
そこで、今回は、「読んでいておなかが空く本」をHONTAN Xメンバーに考えてもらいました。

卯月か
紹介する

坂木 司

913.6/5

『和菓子のアン』
レサイズの服がちょっときつい女
子が、和菓子屋で働く話。金額のお菓
子が出てきて和菓子が食べなくなる?

とおかげ
紹介する

小川 純

913.6/0

『食堂かたつむり』
思わず食べてみたくなるメニュー
がつまってる!
メニューのないお店のお話。

いとまか
紹介する

林 真理子

913.6/H

『東京デザート物語』
長編小説なのに本編に出てくるレシピがカラー写真で掲載されてるユニークな恋愛小説

珠が
紹介する

清水 典子

596/5

『童話の食卓へようこそ』
有名な童話に出てくる料理を再現
した本。料理に関する物語を読む
だけでお腹が空いてきます。

舞が
紹介する

宮部 みゆき

913.6/M

『初ものがたり』
考ふにまつたら食べるこことは大事。
そして、謎の屋台の親父の正体とは?

まぶす
紹介する

吉田 菊次郎

596.65/M

『日本お菓子ばなし』
南北海道の巻
いわゆるレシピ本。見てるだけで
はなんとか腹が減る...

花蓮が
紹介する

吉本 ばなな

913.6/Y

『キッタソ』
読むとカツ丼が食べなくなる。美味しいものを一緒に食べたい人がいる幸せを感じられる本。

きゅうか
紹介する

畠中 恵

913.6/H-11

『しゃばけ』
若旦那と妖怪と、
おいしいものを食べたいのです。

なのかが
紹介する

喜多 ふ、あり

913.6/K

『けちやっぷ』
マックシェイフが飲みたい!
改造人間ログ!行進ツヅケルだ。
てコンビニスイーツが好きなんだ。

N川が
紹介する

吉田 篤広

913.6/Y

『それからはスープのこと』
ばかり考えて暮らした
本当においしいスープはそれだけあ
れば他に何もない。隠し味はや
っぱり「心」なんだよ。

よくわかる
HONTANの

伊藤

館長

第6巻

発行者

卯月

Q1. 館長が今まで訪れた国
・アメリカ、イギリス、アイルランド、ロシア、スウェーデン、ノルウェー、
デンマーク。

Q2. 訪れたい国は

・ニュージーランド



次回、ニュージーランドについて紹介

『図書館戦争』のアニメ化に続き、先月『フリー
ター、家を買う。』がドラマ化され、映像化が
増えてきた有川浩作品。その中から、来年夏に
映画が公開されることになった『阪急電車』を紹介します。

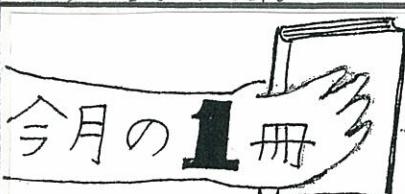
この作品は、兵庫県宝塚市の宝塚駅から西宮市の今津駅までを結ぶ片道15分の阪急今津線を舞台に、偶然乗り合わせた全く繋がりのない人々が繋り広げる、思わず「電車に乗りたくなるような」心温まるヒューマンドラマになっています。

登場人物もごく平凡な大学生、OL、主婦など、小説の世界が決して「特別なもの」ではない感じさせられます。

一駅ごとに、エピソードが分かれているので、有川作品に触れてみたいという方にお勧めです。

皆さんも普段利用しているJRや地下鉄の中に「物語」を探してみてはいかがでしょうか?

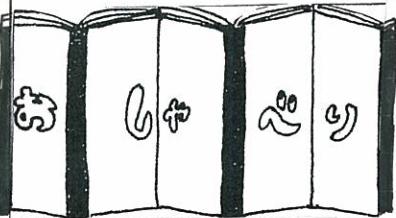
<珠>



有川 浩著

『阪急電車』

913.6/A



HONTAN

今回のおしゃべりHONTANは、「森見登美彦」をPick UP!

アニメ化もされ、今大注目へ森見さんの作品について、とおか、舞、卯月、N・川、花蓮の5人が語ります。

と：森見作品で私が読んだことあるのは、高校の時に、『夜は短い歩けよて女』『新説走れXロス』大学に入ってから、『四畳半神話大系』の3作品です。

正直、『夜は短い』が個人的にしぐれなくてしばらく森見作品に遠ざかっていました。大学に入つから、『四畳半』のキャラクターデザインが中村佑介だと聞き、さらにOPがアジカンだと聞いて、アニメを見たら話も面白かったので、原作読んでみようかな?

コラム とおかの本探力

「POP」について

ずこの本を手にとってしまう。——そんな体験、ありませんか?そのカードこそ、本の売り上げを大きく左右するという「POP」と呼ばれる代物です。「POP」は「Point of Purchase Advertising」の略文字をとったもの。「購売時占広告」と訳されています。

さて、ここでとある書店に置かれた、男性6人による恋愛小説集『I LOVE YOU』につけられたPOPに書かれた一文をご紹介しましょう。「伊坂の純愛が読めちゃう本」。ミステリーで活躍する伊坂幸太郎の純愛小説…気になる!ということで、このPOPによって売り上げが3倍増になったようです。

伊坂幸太郎ほか『I LOVE YOU』913.68/1

Pick up MAGAZINES

デンスランバーなどの作品を書く、小説家伊坂さんの心を動かしたフレーズや、最新作『マリアビートル』についての作成秘話(?)などを読めたり…。その他、いろいろな業種で働く人の心に残ったフレーズが読めて面白いです。是非一読あれ。

と思ひて読んだら原作の面白さに気付きました。

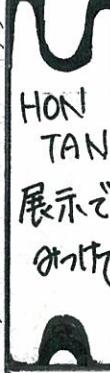
舞：大学1年の時に先輩に薦められて『四畳半』と何かもうひとつ読んだけどイヤイ…

今読んだらまた違うのかな?

卯：私も1冊しかまだ読んでないんですけど、ちょっとギザアップしてしまった作品で…でも、とおかさんのコメント読んで、『四畳半』は面白いのかな?と思ったので、今度手にとってみようと思います。

N：『太陽の塔』『夜は短い』『走れ』『恋文の技術』読んだことがあるよ。大正～昭和の文豪のよう!レトロな文体に独特的のユーモアを散りばめますねー。まじめにまじめ、とはこんな感じかしら。『走れ』はなんかまさにこれだよね。古い文学作品が好きな人にはたまらん単語がちらほら!『太陽の塔』『夜は短い』はあつたようは、現実世界に突然ファンタジーが入ってくるところが好き。彼女の夢の中で太陽の塔を見上げるシンシがきれいでいいですね。

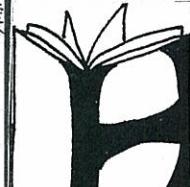
書店に入ったときふと目にとまる、本の紹介や登場するセリフなどが書かれた小さなカード。印象的な文章に興味をそそられて、思わ



休憩室展示、紹介

今回の帯展示のテーマは、「読書の秋におすすめ〇〇賞をとった本」です。HONTAN卯月が〇〇賞を受賞した作品の帯を集めました。

国内の賞から国外の賞まで、様々な本の帯、集めてみたので、皆さんも〇〇賞を受賞した本、会話のネタに読んでみて下さい。



星学祭も無事終了することでき、ありがとうございました。秋といえば『読書』(『食』も捨て難いですが)でも、最近忙しさにかまけてあまり新しい作家さんを開拓していくことに気づきました。

えろそろ、新しい作家さん開拓しようかなと思います。



白銀エンタティメント! NO.164
P50、「紡ぎ手が知る本物の言葉」
インタビュー 伊坂幸太郎
特集、人気者の言葉力で小説

家：伊坂幸太郎さんが特集されます。映画化され話題を呼んだ『ゴーレンスランバー』などの作品を書く、小説家伊坂さんの心を動かしたフレーズや、最新作『マリアビートル』についての作成秘話(?)などを読めたり…。その他、いろいろな業種で働く人の心に残ったフレーズが読めて面白いです。是非一読あれ。

森見さんは内田百閒の作品が好きって言ってたけど、そういう不思議な感じとまじめな文体でとぼけたとて書くのが似てるかも。大好きって感じではなく、なんか気にならぬ森見さん。

これからも手にとってなんとなくいやっとしたいもんぢね。

花：やっぱり好き嫌い分かれるとね。独特の文体のせいでしょうか。私は森見さんを読むときは「そういうものだ」と最初から覚悟して読む癖がついたので、あまり気にならなくなりましたが。

私は入りが『四畳半』からで最初に読んだときは正直カオスすぎるよくわからず、後半から「実は面白いのでは?」と思い始めました。

でも、一番は「ペンギン・ハイウェイ」かな。独特の語りがあまり出てこないし、小学生の男の子の話なので、ほっこりして最後はけっこ切符なくて…よかったです。